

研究テーマ 初歩的な英語で自分なりの考えを書く能力を育てる英語科学習指導の在り方  
中学校第2学年における書く活動と Writing Plus を組み合わせた指導計画の作成及び自己表現カードの活用を通して

1 単元名 Unit 3「E-pals in Asia」と Plus の学習

2 目標

- 既習の語句・表現や辞書で調べた語句を用いて、自分の気持ちや考え、体験などを積極的に書いたり話そうとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 既習の表現に教科書巻末の参考語句を使って、自分の考えや気持ちなどが読み手や聞き手に正しく伝わるように書いたり話したりすることができる。(表現の能力)
- 書かれたり話されたりした内容を理解することができる。
- 不定詞の「～のために」(副詞的用法)、「～すること」(名詞的用法)の文の形・意味・用法を理解できる。(理解の能力)
- 学校生活に関する用語や、自分の考えや気持ちを表現したり相手に質問したりするときの表現について理解を深める。
- 日記・思い出・メール等の英文での書き方や住所の表し方について理解できる。(言語や文化についての知識・理解)

3 指導にあたって

Unit 3 はインターネットによる英語での情報交換の疑似体験させることを意図した単元である。

Writing Plus 2 は、Unit 3 での「外国からのメールを読む」という場面設定をうけて、メールの書き方の基本を学ぶ。以上が教科書の標準的な指導計画である。そこに「書く活動」を拡充的・系統的に設定し指導にあたる。

本学級の生徒は男子 15 名、女子 15 名、計 30 名である。学力の個人差は大きいものの、総じて真面目に英語学習に取り組むことができる集団である。ALT に対しても好意的でティーム・ティーチングの時間を楽しみにしている。学期最初の英語学習に関してのアンケートでは、4 技能の中で「英語で書く力」を一番伸ばしたいと解答している。

そこで、生徒が興味・関心を持って意欲的に書くことに取り組む内容や展開に工夫を凝らし、自分のことを積極的に書き表現できる能力を育てたい。

4 学習計画(8時間取り扱い)

第1時	第2時	第3時	第4時	第5時	第6時	第7時 (本時)	第8時
オリエンテーション アンケート 書くことの実態調査	自己表現活動 ・「～のために」 不定詞の副詞的用法	自己表現活動 ・「～すること」 不定詞の名詞的用法	Multi plus 1 ・わたしの夢について書く。	自己表現活動 ・日記を書く。 Writing Plus 1 の復習	Writing Plus 2 Post it! ・手紙を送ろう	自己表現活動 ・遠足の思い出を英語で書く。	自己表現活動 ・私の好きなものについて書く。
	Unit 3 Starting out	Unit 3 Dialog		Unit 3 Reading for Communication ①			Unit 3 Reading for Communication ②

本来 Plus の学習は、通常の単元(ユニット)の間に位置づけられた補充・深化の単元(プラス)である。本研究では、自分のことを積極的に書いて表現できる能力の育成のために、通常授業にも新出文法事項を使った自己表現活動を付加的に取り入れ Plus の学習と連携させて、「書くこと」の表現活動に焦点をあて、系統的に「書く活動」の指導を進める。□ は、通常の授業に書く活動を組み入れた部分である。また、Writing Plus 2 と Multi plus 1 を集中させて配置した。

5 研究テーマに迫る手だて

- ・ 指導計画作成の工夫  
上記の学習計画にもあるように、授業の最初に「書く活動」を授業の一部に意図的に組み込み Plus の学習を系統的に配置する。
- ・ 自己表現カードの工夫  
毎時間の書く活動と Plus の学習のすべてに、自己表現カードを作成し活用する。段階を踏んで課題を設定することにより、生徒の「書くこと」の表現活動を支援する。

6 本時の指導

(1) 目標

- モデル作文や表現の例を参考にして、鎌倉遠足の思い出を英語で書くことができる。  
(理解の能力, 表現の能力)

(2) 準備・資料

英語ファイル, ワークシート, 和英辞典, 遠足のしおり, 遠足で集めたリーフレット

(3) 展開

配時	学習活動及び内容	指導上の留意点・評価
0	1 英語であいさつをする。 Good morning, everyone. How are you today? What's the date today? What day is it today? What are you going to do this weekend?	○ ALT とも元気にあいさつを交わすことで学習に参加する意欲を喚起し, 学習しやすい雰囲気を作る。 ○ 金曜日でもあるので既習表現である週末の予定を口頭で聞き, ウォームアップ活動とする。
2	2 本時の学習課題について知る。  A trip to Kamakura 遠足の思い出を英語で書こう。	
3	3 モデル作文を読む。 (1) モデル作文を聞く。 (2) モデル作文を ALT に続いて読む。  (3) 要点を読み取り, ワークシートに記入する。	○ あまり時間をかけすぎないように時間配分に注意する。 ○ ワークシートを伏せさせ, ALT により口頭で導入する。 ○ 音読する際にはワークシートを見てもかまわないが, 必要最小限にとどめるよう指示する。  [評] モデル作文の要点を読み取ることができる。 (理解の能力 発表・観察)
10	4 表現の確認をする。 (1) 日本語に合うように適語を入れる。  (2) ALT の後について読む。	○ JTE, ALT とも机間指導をし, 個に応じて生徒を支援する。 [評] 適語を入れ, 英文を完成できる。 (理解の能力 発表・観察) ○ 既習表現なので, リズミカルに行う。
15	5 遠足の思い出の構想をたてる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>&lt;例&gt; 円覚寺→北条時宗 大仏→人間の何倍? 暑い←散策(鎌倉)のお土産 アジサイ →小町通り →明月院 →鳩サブレ</p> </div>	○ 遠足の思い出を生徒に自由に発言させ, 生徒から出てきたものを黒板に次々と示し, 英文で書く内容の構想を立てさせる。 ○ わからない単語は日本語を使ってもよいことを伝える。 ○ JTE, ALT とも机間指導をし, 個に応じて生徒を支援する。 [評] 書く内容について構想をたてることができる。 (表現の能力 観察)
25	6 遠足の思い出について書く。	○ JTE, ALT とも個に応じて生徒を支援する。全く書けないでいる生徒には, 例文の一部を換えて書くよう助言する。 [評] 自分の伝えたいことが英文で表現できる。 (表現の能力, 観察・発表・ワークシート)
40	7 書いた作品を発表する。	○ 机間指導のおり, ユニークな作品を書いた生徒を選び発表を促す。発表した生徒は賞賛し励ます。
45	8 自己評価カードに記入する。	○ 自己評価カードに記入することにより学習内容を確認し, 次時の学習の見通しをたてる。
49	9 英語であいさつする。 Good-bye, everyone. Have a nice lunch. Have a nice weekend!	○ 授業の締めくくりとして, 元気にあいさつさせる。
50		

# 自己表現カード⑥

## A Trip to Kamakura 遠足の思い出を英語で書こう。

### Step 1

モデルを読もう。

<例> 昨年の3年生のS君の修学旅行の作品です。まず読んで、要点をまとめよう。

I went to Kyoto in May.  
I visited many old ① shrines and temples.  
One of ② the most favorite temples is Kinkakuji-temple.  
Ashikaga Yoshimitsu ③ built it.  
It was shining ④ brightly.  
It was very beautiful.  
At night I ⑤ enjoyed talking with my friends.  
I want to go to Kyoto again.



#### Words & Phrases

- |                       |                |
|-----------------------|----------------|
| ① shrines and temples | 神社・仏閣          |
| ② the most            | 一番 ~ な         |
| ③ built               | build(建てる)の過去形 |
| ④ brightly            | あざやかに          |
| ⑤ enjoy ~ ing         | ~するのを楽しむ       |

<注意>

\*絵を描いたり写真や資料を貼り付けると、内容がわかりやすくなります。

\*英語にならない単語はローマ字で表しましょう。

←\*自分で調べた語句や表現はまとめておきましょう。

要点を読み取ろう

(1) 誰が

Who went to Kyoto? \_\_\_\_\_

(2) いつ

When did he go there? \_\_\_\_\_

(3) どこを見学した

Where did he visit? \_\_\_\_\_

(4) どうだった

How was it? \_\_\_\_\_

(5) その他

Others. \_\_\_\_\_



### Step 2

表現を確認しよう。 日本文に合うように ( ) 内に適切な語を入れ、英文を完成させよう。

① 私達は 鎌倉に行った。

We ( ) ( ) Kamakura.



② 私達は 鎌倉の歴史について学ぶために 散策した。

We went for a walk ( ) ( ) about Kamakura's history.

③ 私のお気に入りの場所は 大仏 です。

My ( ) spot ( ) a big Buddha.

④ (天気は) とても暑かった。 \*天気や気候を表す it は「それは」と訳しません。

It was ( ) ( ). \*蒸し暑い→ humid

⑤ わたしは 5時半に家を出るために 早起きした。

I ( ) ( ) early ( ) leave home at 5:30.

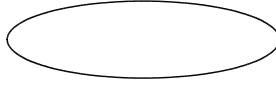
# ザ・自己表現コーナー

自分の立場で自由に英文を書こう！

## Step 3

話題を選ぼう。①いつ（何時に）誰と②何を見学して③どうだった（感想）④その他の情報（おおすすめ 等）について構想をまとめてから、書くようにしよう。

- ①
- ②
- ③
- ④



## Step 4

あなたの思い出を書こう。

\*行がたりないときは、→裏面に書こう。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

Words & Phrases

\*調べた語句や表現をまとめておこう。

Date

Weather

Name